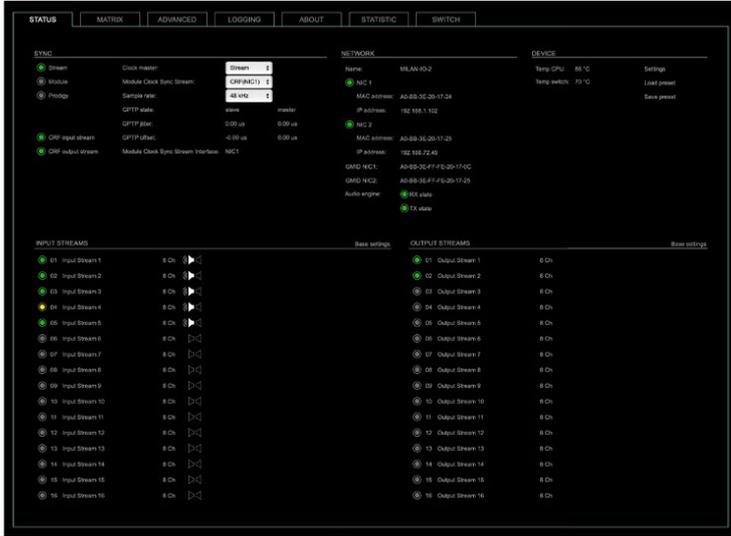


MILAN.IO クイックマニュアル(SW0.15/HW0.09)

MILAN.IO は MILAN/AVB 用のオーディオ・ネットワーク・モジュールです。PRODIGY にホストされています。

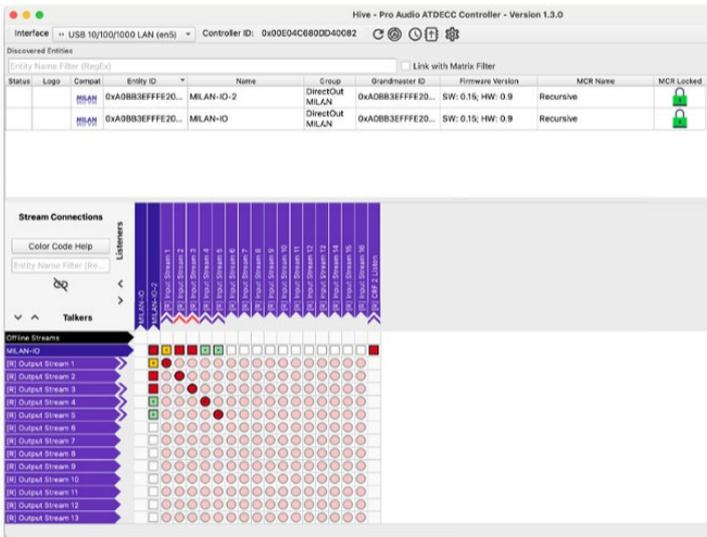
- ・モジュールの一般的な設定は、ブラウザベースのインターフェースから利用できます。
- ・実際のストリーム接続と管理は、すべてアプリケーション「Hive」または他の ATDECC コントローラ・ソフトウェアで行う必要があります。



Web UI

ウィンドウのサイズとズームレベルは変更できます。ページはタブで構成されており、プルダウンメニューまたはハイパーリンクからパラメータの値にアクセスできます。

一部の値は入力フィールドを使用します(例: IP アドレス)。



ATDECC コントローラ・ソフトウェアは、AVB ストリームのパッチ処理を行います。

<https://github.com/christophe-calmejane/Hive/releases>

Web UI

コントロールページにアクセスするには:

- ・ポート 1 をネットワークに接続します。
- ・ブラウザのナビゲーションバーに

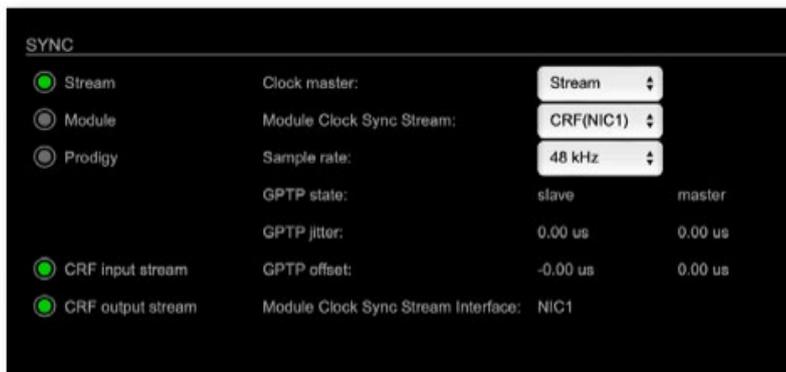
`http://<IP アドレス> (デフォルトの IP @ PORT 1: 192.168.0.1)` と入力します。

3 つの物理ネットワークポート(ポート 1~3)は、2 つの独立した内部ネットワークインターフェース(NIC 1 / NIC 2)によって管理されています。

ポート 1 は NIC 1 に固定的に割り当てられています。ポート 2 と 3 は、SWITCH タブで NIC 1 または NIC 2 のどちらかに割り当てることができます。

*NIC 1 と NIC 2 が同じスイッチに接続されている場合、それらは異なるサブネットに構成する必要があります

ハイパーリンクをクリックすると、関連する設定を調整するためのポップアップウィンドウが開きます。ほとんどの設定は、通知なしに即座に更新されます。ポップアップウィンドウを閉じるには、右上のボタンをクリックします。マウスオーバーは、追加情報を表示します(ネットワークリンクの接続速度など)。

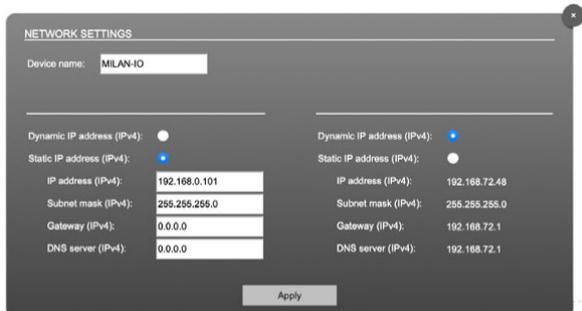


SYNC の設定項目です。
Clock master
Module Clock Sync Stream
Sample rate
を設定できます。

LED が緑に点灯している場合、クロックマスターに同期しています。

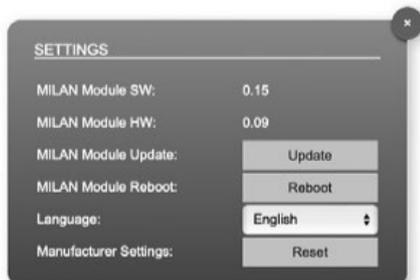


NIC 1(左)と NIC 2(右)の設定は個別に編集できます。



2つのネットワークインターフェース(NIC 1 / NIC 2)も個別に設定できます。
設定変更後は、リブートが必要です。

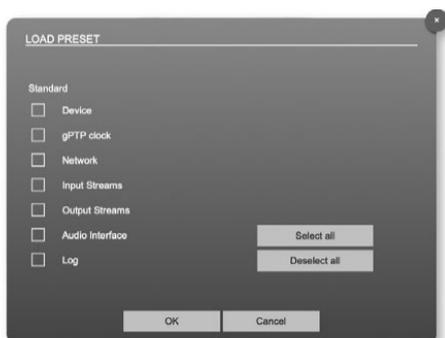
Settings



Status Device > Settingsから、MILAN モジュールのアップデート、リブート、マニファクチャーセッティングの呼び出しが可能です。

アップデートは DirectOut のホームページより、最新の FW をダウンロードして、解凍したファイルを選択することにより行います。

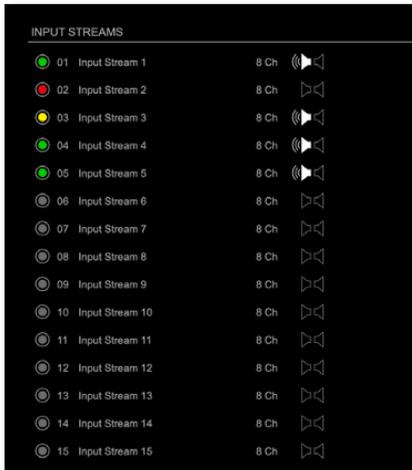
<https://www.directout.eu/support/updates/>



デバイスの構成は、1つのファイル(.rps)に保存することができます。構成を呼び出す際には、個々の設定を選択するためのダイアログが表示されます。
これにより、特定の調整を維持するか、または単一の調整を復元するかを柔軟に選択することができ、セットアップ変更時の柔軟性が向上します。

インプットストリーム設定

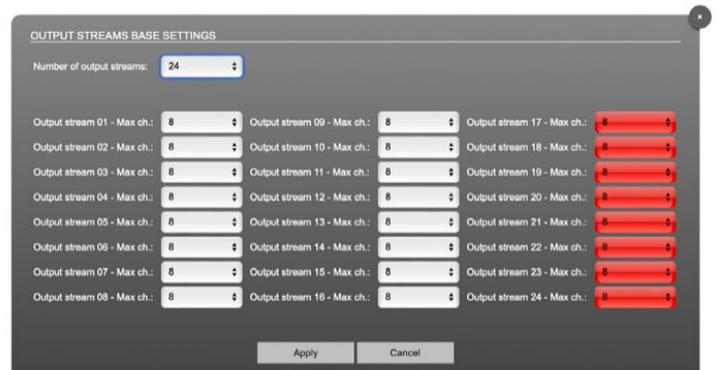
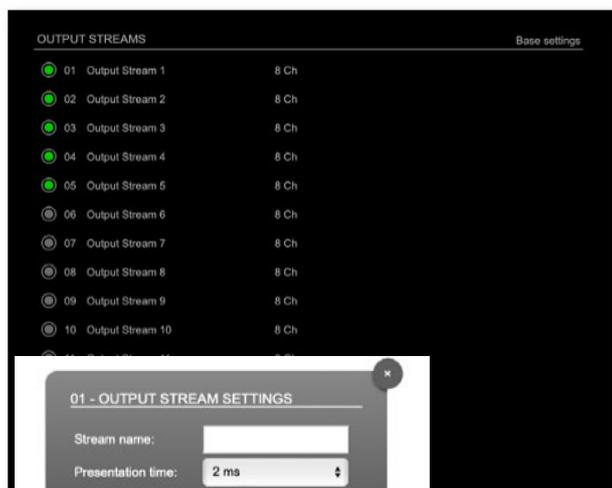
このモジュールは最大 32 ストリームまで構成できます。16 ストリーム/各 8 チャンネル(最大 128ch)が、工場出荷時のデフォルトとして設定されています。各ストリームは、1~8 のオーディオチャンネルを含むように設定できます。概要には、各ストリームの基本情報が表示されます。入力ストリーム名は手動で設定する必要があります。利用可能なストリームの総数と、入力ストリームの最大チャンネル数は、「Base settings」で設定できます。



ひとつのストリームのステータスが表示されます。ストリーム設定では、受信したオーディオデータの処理(ストリーム名、オーディオフォーマット、チャンネル数)を調整することができます。

ストリームデータの受信は、ATDECC コントローラー(Hive など)を介してストリームが有効化された時点で開始されます。

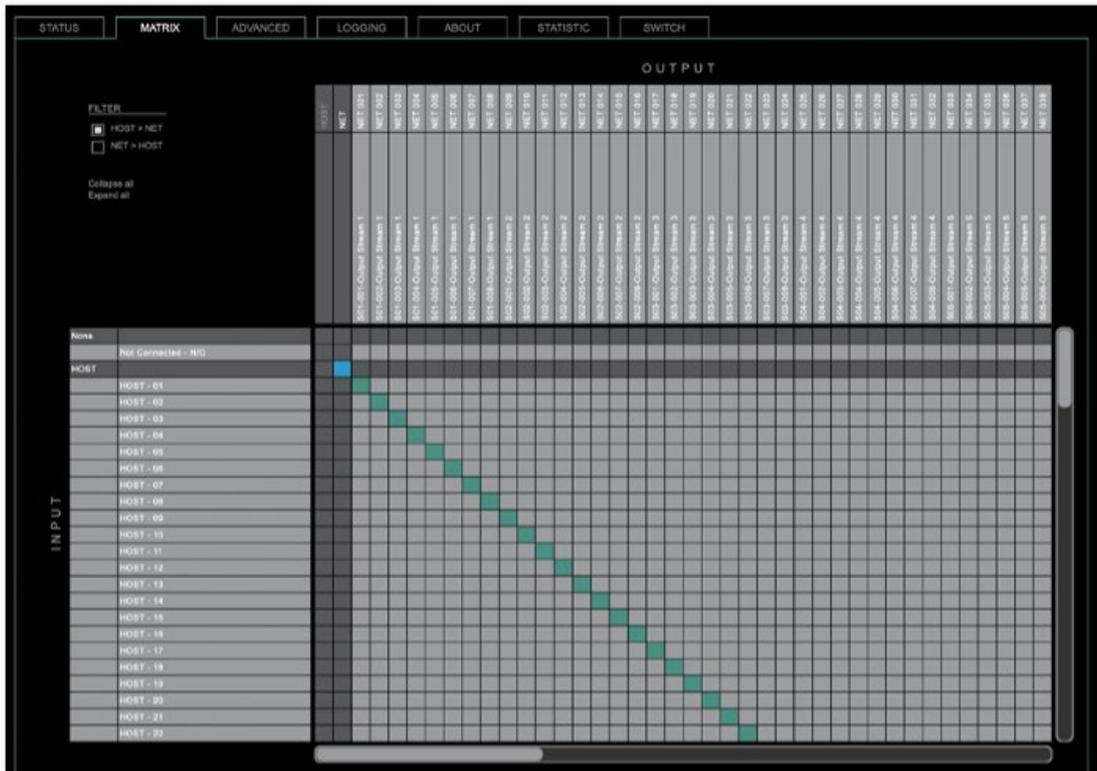
アウトプットストリーム設定



インプットと同様に設定します。

ストリーム名(ASCII)、Presentation time、フォーマット、チャンネル数を設定します。(BaseSetting に依存します)

マトリクス



「MATRIX」タブでは、HOST と MILAN ネットワークチャンネル間のチャンネルマッピング(パッチング)が可能です。

- HOST または NET をクリックすると、対応する入出力を展開または折りたたむことができます。
- NET の入出力には、割り当てられたストリームの 2 列目または 2 行目にストリームラベルが表示されます。
- ストリームラベル: <SXX>-<XXX>-<ストリーム名>
S<XX> = 「STATUS」タブ内のストリームの番号
<XXX> = ストリームに含まれるオーディオチャンネルの番号
<ストリーム名> = ストリーム設定で割り当てられた名前

*HOST から HOST、MILAN から MILAN へのパッチはできません(ループバック付加)

Advanced 設定

GTPP などの詳しい設定は、Advanced タブで可能です。

詳しくは英文マニュアルをご参照ください

<https://www.directout.eu/product/milan-src-io/>

DOWNLOADS より

